

東京ガスさん、 なぜ今さら石炭？

東京ガスの内田高史社長にハガキを送って
千葉袖ヶ浦火力発電所（仮称）計画を
やめてもらおう！

約 240 万
世帯分！

あなたのアクションで
約 1,200 万トン／年の
CO₂ 削減ができるかも…

なぜ、ハガキアクション？

東京ガスが石炭火力の計画から撤退するのを促すためです

東京湾岸（千葉県袖ケ浦市）に大きな石炭火力発電所の計画があります。（仮称）千葉袖ケ浦火力発電所計画です。その出資企業の一つが東京ガスです。

今年 2018 年 4 月、東京ガスの社長が交代しましたが、新社長の内田社長は、社長就任以前から慎重な姿勢を示していました。就任後には複数の報道機関のインタビューに「経済性や環境性を考えると、慎重に考える必要がある」という趣旨のコメントをしています。共同出資企業と協議する考えも示しており、今後の動向が非常に注目されています。

事業を計画している 3 社のうち、1 社が撤退を決めれば、計画中止に向けて大きな一歩を踏み出すことができます。そのために、市民からの反対の声を伝え、社長が計画中止の決断をするよう促すことが必要です。

2017 年 3 月、東燃ゼネラルと関西電力は、千葉縣市原市で計画していた石炭火力発電所計画（100 万 kW、1 基）を中止することを発表しました。これは、採算性が見込めないと判断した東燃ゼネラルが関電側に事業化の取りやめを申し入れたことがきっかけと報じられています。

天然ガスが「売り」のはずが

東京ガスは電力自由化で 2020 年に 220 万件の顧客獲得を目標としています

東京ガスは、電力自由化で小売り事業を開始し、現在東京電力からの切替えが NO1 となっています。そして、2020 年度には家庭向け電力契約を現状の 2 倍以上の 220 万件を目指す方針を打ち出しています。

現在、東京ガス関連の発電所として、東京ガスベイパワー、東京ガス横須賀パワー、川崎天然ガス発電、(株) 扇島パワー（計 4 か所 238 万 kW）が運転しています。また、今後は栃木県真岡市に建設準備を進めている「真岡発電所」の電力の全量（約 120 万 kW）供給を受けることも決めており、茨城県にも 200 万 kW の火力発電所を計画すると発表しているのです。そして、これらがいずれも省エネ性に優れた最新鋭の天然ガス火力発電所であることを強調しています。

世界は、脱石炭の流れもあり、パリ協定時代にもはや巨大な石炭火力発電所の計画は不要です。気候変動や大気汚染を引き起こす石炭火力発電所はいらないという消費者の声を届けることが必要です。そして、今ならまだこの計画から撤退できるのです。

東京ガスが撤退を決断するために、あなたの一枚を！

現在、環境アセスも遅れています

石炭火力は大気汚染や気候変動の悪化、東京湾の海水温上昇などに繋がります

袖ケ浦の石炭火力発電所の計画は、日本の石炭火力発電所の計画の中でも最大規模です。“高効率”などと言われていても、大量の CO₂ や SOx や NOx を排出することが環境アセスメントからも明らかになっています。この計画は環境アセスメントの第二段階である方法書の手続きを終えたところです。方法書に対して、環境大臣は「是認できない」と公表しているのです。

次のステップである準備書の公表は、当初予定されていたよりも遅れています。今、たくさんの人からの声を届けることで、東京ガスの計画撤退を促すことができるかもしれません。

【計画概要】

名称	（仮称）千葉袖ケ浦市火力発電所
事業者名	千葉袖ケ浦エナジー
出 資 者	東京ガス、九州電力、出光興産
住所	千葉県袖ケ浦市中袖 3-1
設備容量	200 万 kW（100 万 kW × 2 基）
燃料	石炭（580 万トン / 年）
運転開始予定	1 号機 2025 年、2 号機 2026 年
CO ₂ 排出量	1,200 万トン - CO ₂ / 年（推計）
硫黄酸化物（SOx）排出濃度	22.0ppm
窒素酸化物（NOx）排出濃度	15.0ppm
ばい塵排出濃度	5.0mg/m ³ N

アクションを広めよう！

地元袖ケ浦の団体や様々な環境団体が協力して懸念を表明しています

国内最大急の石炭火力発電所が東京湾岸にできることに對して、多くの市民や環境団体などが大変懸念をしています。そして、東京ガスに対して直接申入れも行ってきました。私たちの声に対しては、聞く耳を持ってくださる企業だと確信しています。

今、以下の団体がこのハガキアクションに賛同して、取り組みを進めているところです。あなたも共にアクションに参加しませんか？そして身近な人にも呼びかけてみませんか。

【団体名】

袖ケ浦市民が望む政策研究会、石炭火力を考える東京湾の会、石炭火力を考える市原の会、蘇我石炭火力発電所計画を考える会、横須賀石炭火力発電所建設について考える会、e シフト（脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会）、気候ネットワーク、国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン、350 Japan、国際環境 NGO FoE Japan、A SEED JAPAN、市民電力連絡会、グリーン連合、パワーシフト・キャンペーン

（仮称）千葉袖ケ浦火力発電所問題の詳細は
パンフレット参照
<http://nocoal-tokyobay.net/2017/09/01/sodegaurapamphlet/>

